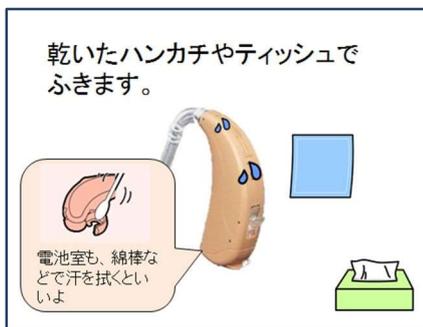




みみのおたより

NO.2

梅雨入りした時期は補聴器の不調・故障が多くなる時期です。気温も高くなり、少しの運動で汗をかき季節でもありますね。**補聴器にとって、水分や汗は大敵**です!!
補聴器をいつも良い状態にしておくために、正しい知識や管理の仕方を知り、取り組んでいきましょう。



汗をかくと、補聴器にその汗が付きます。汗が補聴器の内部に入ってしまうと、故障の原因になります。

汗をかいた後は必ず、耳の後ろの汗を拭きましょう。

補聴器に付いた汗も乾いた布で拭き取りましょう。

※ 電池に汗が付き、電池室が錆びることがあります。

電池もきれいにしましょう。

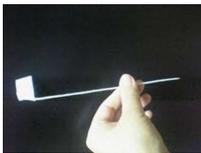


汗対策として、補聴器カバー（324円～）も有効です。

ただし、汗で濡れたカバーをそのまま着けておくと、逆にものすごい湿気の中に補聴器を入れることになりますので、要注意です!!

濡れたらカバーを外すか、乾いたカバーに替えるようにしてくださいね。

周囲の気温の変化によって、イヤモールドのチューブの中に水滴が付く場合があります。（冬場の室内の窓と同じ状態、結露です。）チューブの中に水滴が付くと、音が聞こえなくなる原因にもなります。



この場合、ティッシュを1枚にしたものでこよりを作って、チューブの中に入れて水滴を吸い取りましょう。イヤモールドのチューブに糸の付いたもの（防滴チューブ：280円）もあります。

補聴器は毎日、**乾燥ケースに入れて保管**しましょう。

電池ボックスのふたを開けて保管してください。

専用の保管容器（乾燥ケース：千円～）に入れましょう。

密閉容器（タッパーでもよいです。）に除湿剤（シリカゲル）を一緒に入れておき、できるだけ水分を取れる状態で保管するようにしましょう。シリカゲルも定期的に（2～3カ月を目安に）交換が必要です！

補聴器乾燥機（5千円～）も購入できます。



補聴器乾燥ケース
（乾燥剤が必要）

補聴器乾燥機

補聴器をいつも良い状態で保つためにも、管理についてご家庭で改めてお子さんと一緒に確認をして、大切に扱ってください。